

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う
WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果について

平成 23 年 3 月 15 日
(独) 日本原子力研究開発機構

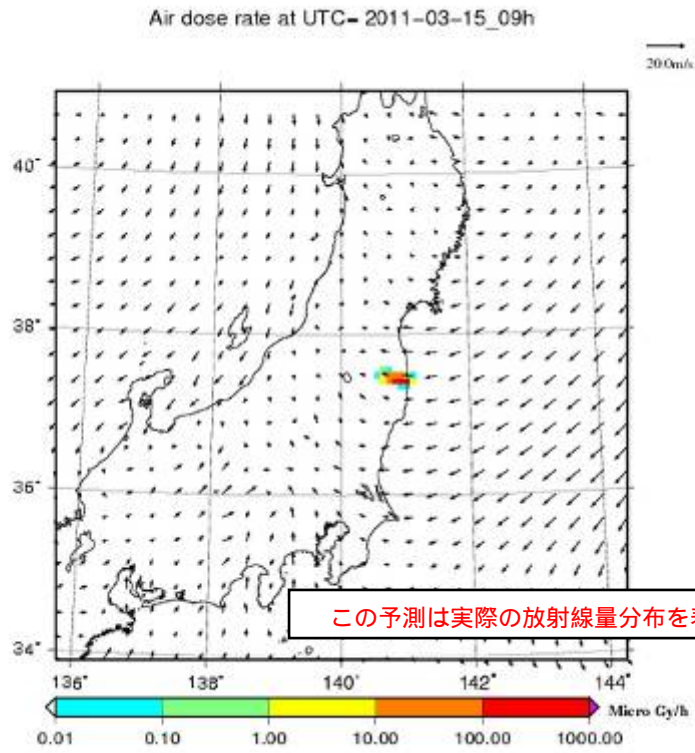
標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下の通りです。

1. 仮定計算条件

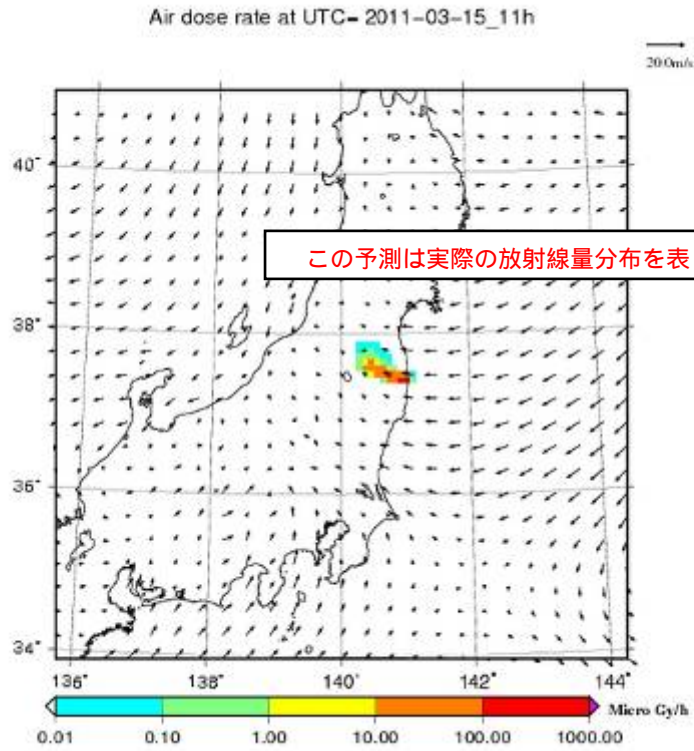
放射性物質の量	希ガス 10^{18} Bq/h (総量: 10^{19} Bq) ヨウ素 10^{15} Bq/h (総量: 10^{16} Bq) それぞれ 10 時間放出が継続するものとする。
放出場所	: 福島第一原子力発電所 東経 141.0356 度 北緯 37.4217 度
放出高さ	: スタック高 (120m)
燃焼度	: 20,000 MWD/MTU
原子炉停止時刻	: 3 月 11 日 15 時
放出開始時刻	: 3 月 15 日 16 時

2. 結果出力

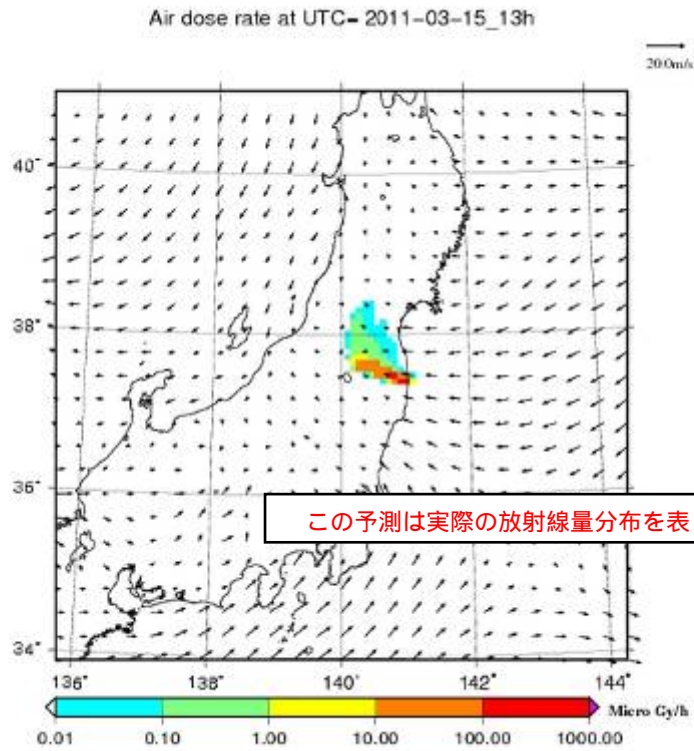
【空間線量率分布 3月15日18時】



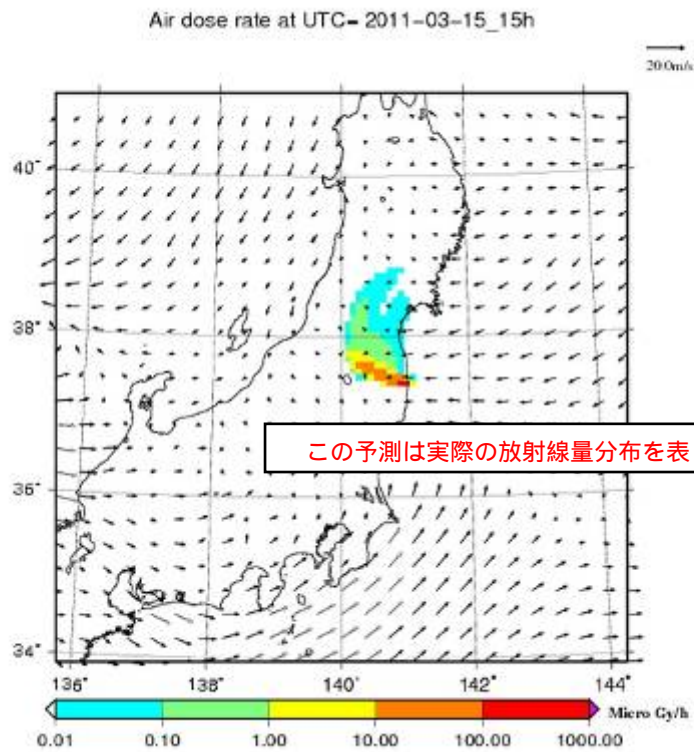
【空間線量率分布 3月15日20時】



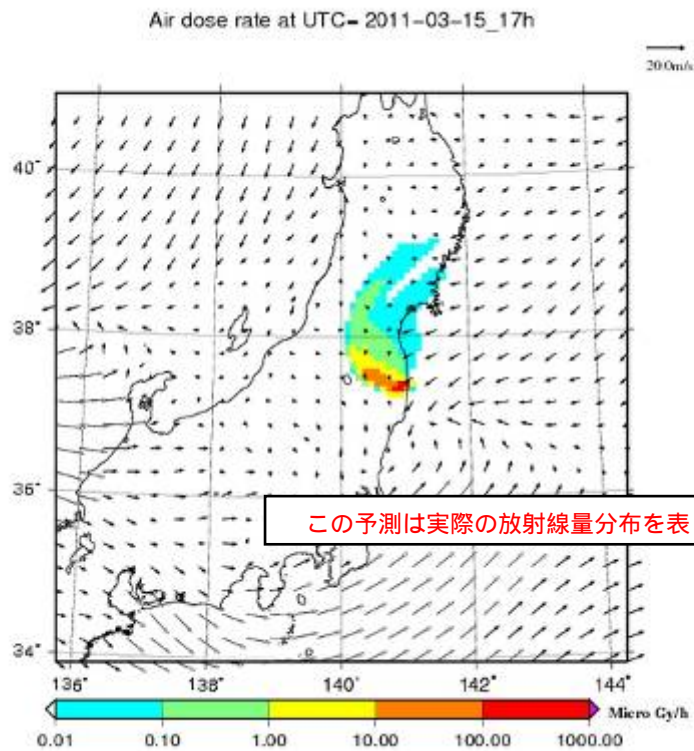
【空間線量率分布 3月15日22時】



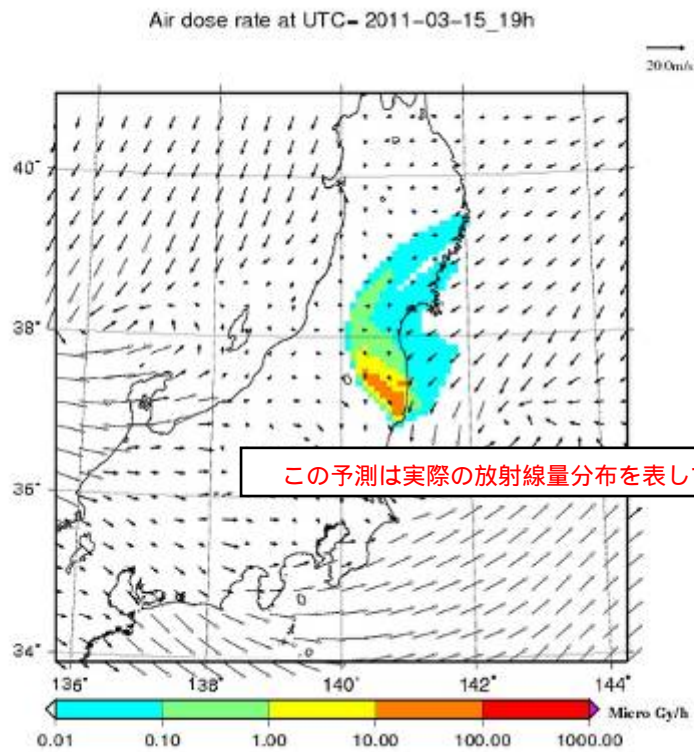
【空間線量率分布 3月16日0時】



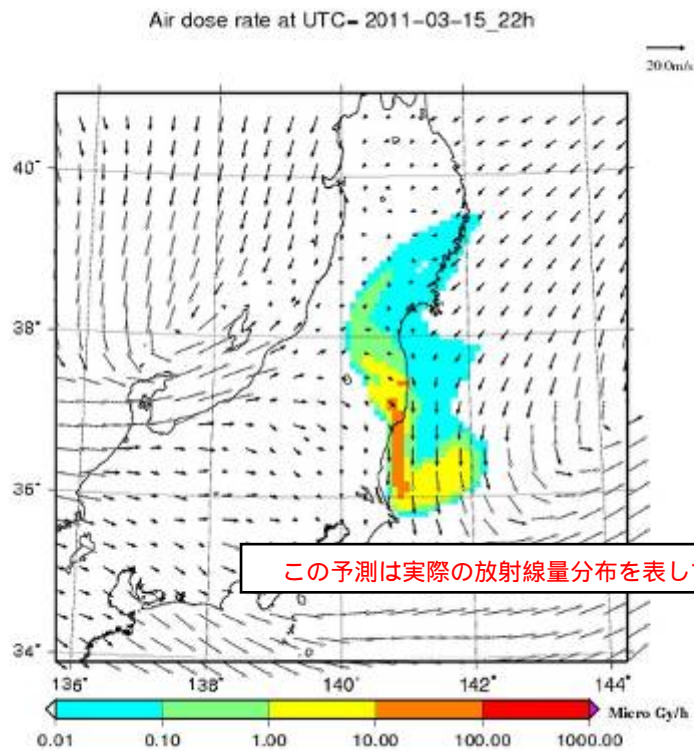
【空間線量率分布 3月16日2時】 放出終了



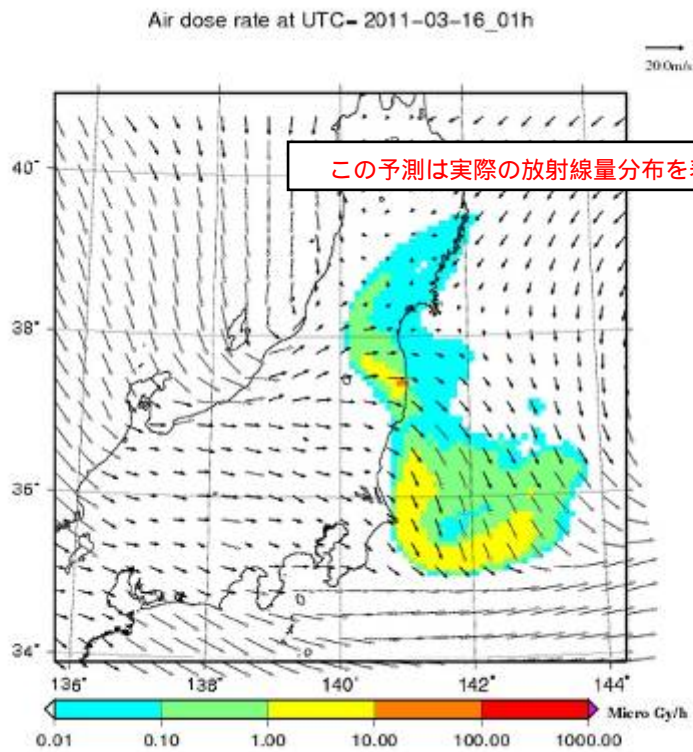
【空間線量率分布 3月16日4時】



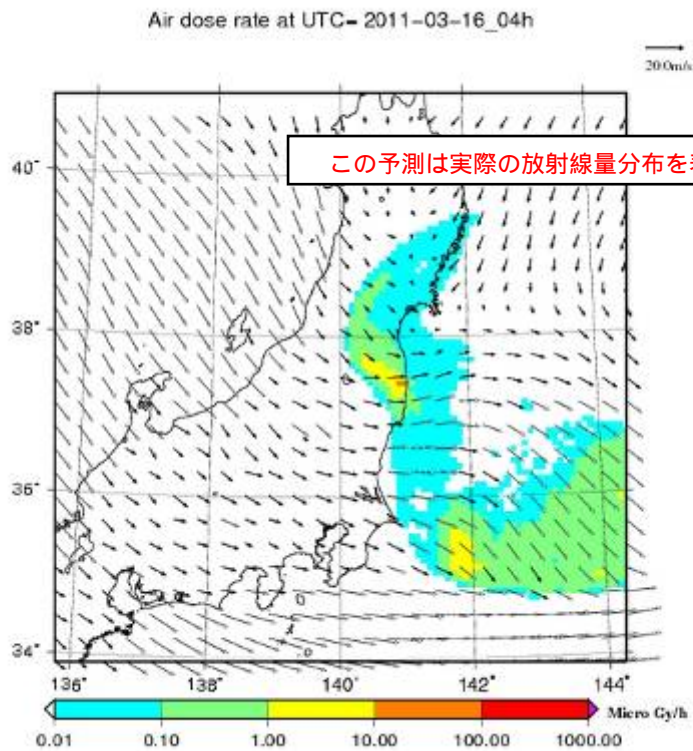
【空間線量率分布 3月16日7時】



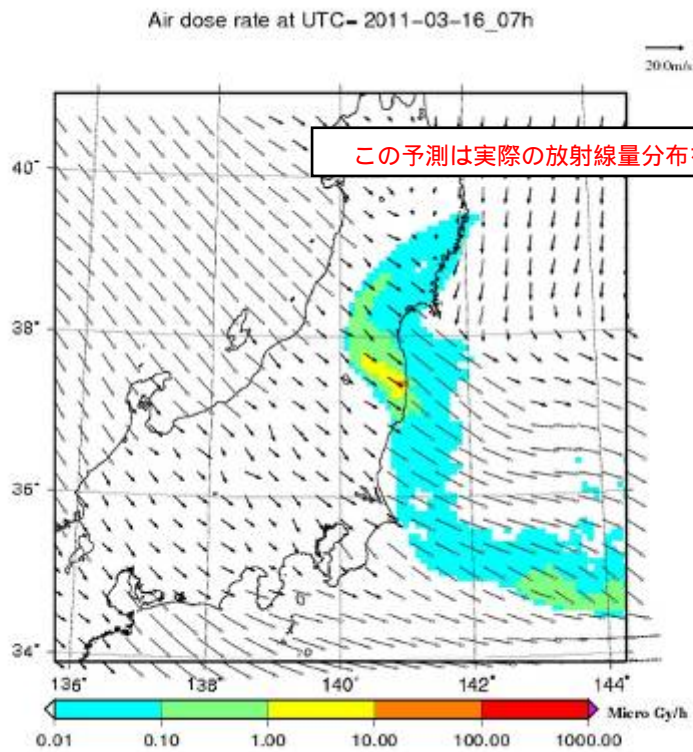
【空間線量率分布 3月16日10時】



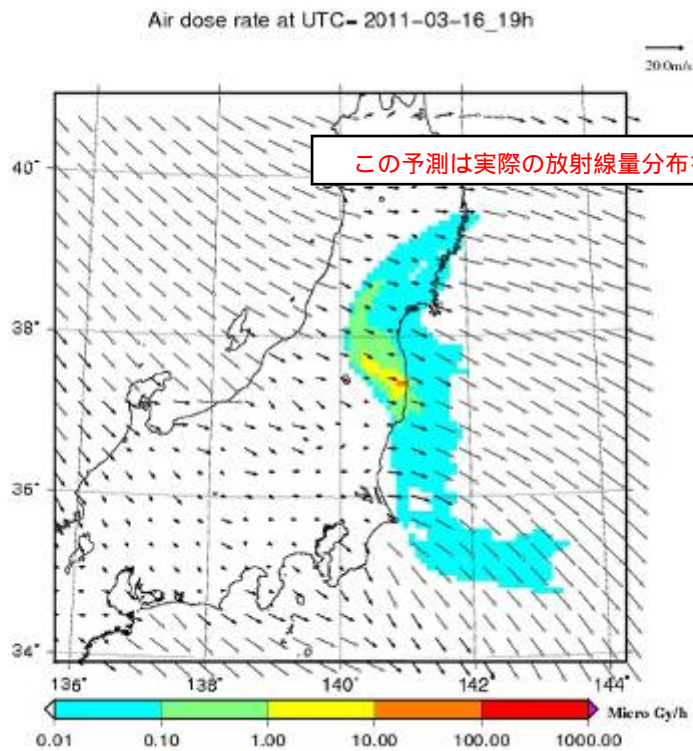
【空間線量率分布 3月16日13時】



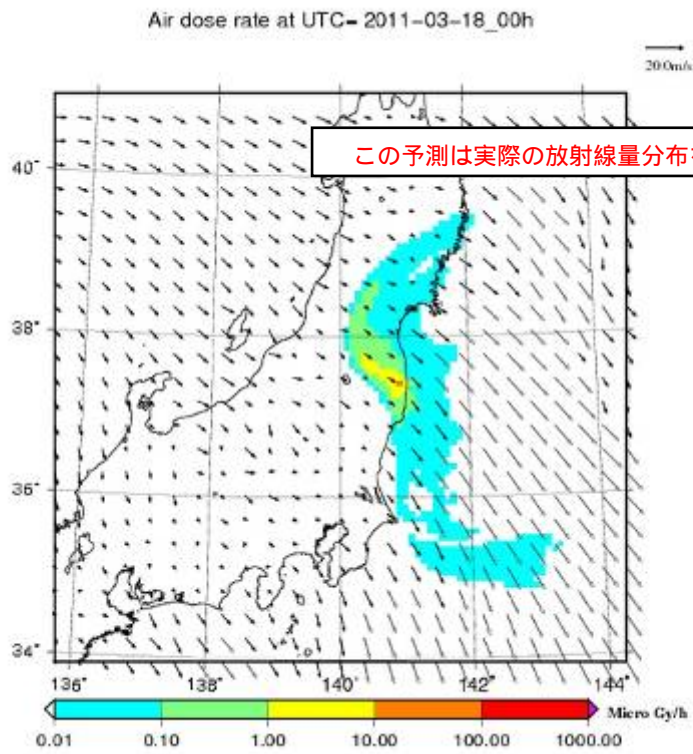
【空間線量率分布 3月16日16時】



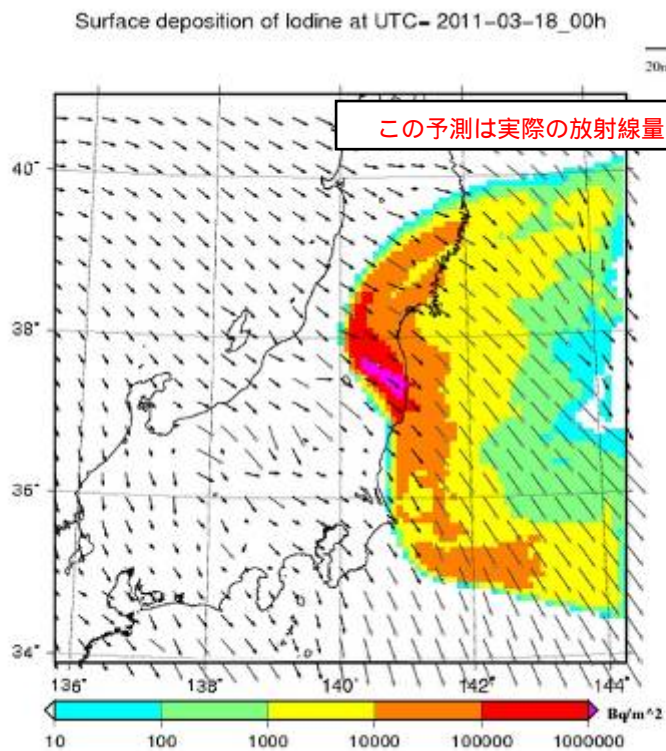
【空間線量率分布 3月17日4時】



【空間線量率分布 3月18日9時】



【ヨウ素沈着量分布 3月18日9時】



3月16日16時以降はブルームが計算領域外に流出しているが地表に沈着したヨウ素による線量率が計算されている。なお、宮城県から岩手県方向に向かう線量率分布は降水により上空から地表に沈着したヨウ素による。